

11番 合砂 丈司でございます。

次の点について質問いたします。

1 高齢化社会における交通の足確保対策について

町では、10月1日から10月14日まで、安家地区限定による「安家お試しタクシー」を実施しましたが、その結果とどのように評価しているか伺います。

広報いわいずみ11月1日号に掲載された利用者アンケート結果によりますと、「待ち時間が無くて済む。」「バスより早く目的地に到着できた。」ということでしたが、「運行について知らなかった。」「地区外の岩泉や久慈に行くとき、最終目的地まで利用できるようにしてほしい。」という声も聞いています。

14日間という日数では、成果は限られていますが、いかがだったでしょうか。次の実証実験をすることにより住民にも浸透してくると思いますが、その考えはないのかお伺いします。

また、この実証実験をもとに、年々進む高齢化社会、人口

減少に伴う一人世帯、運転免許証返納に伴う交通弱者、障がい者や介護を要する人たちに寄り沿った考えに立ち、乗車前の戸締り、火の元確認など見守りサービスを兼ねた運行が必要と考えますが、中居町長の見解をお伺いいたします。

11番 合砂 丈司 議員の御質問にお答えします。

はじめに、高齢化社会における交通の確保対策についてであります。デマンド交通の実証実験として実施した「安家町民タクシーお試し運行」は、2週間の期間中に延べ14人の利用がありました。

利用者へのアンケートでは「また利用したい」「バスよりも早く目的地に着いた」などの回答をいただいていることから、デマンド交通の導入に向けて一定の評価をいただいたものと考えております。

特に、脚が悪いため、普段はバスへの乗降が難しく、利用できなかった方から、デマンド交通は利用できたといった声もありましたことから、高齢化社会への対応という点におきましても、手応えを感じているところであります。

一方で、実証実験の結果、見えてきた課題もありましたことから、より良い仕組みの構築に向けて、実施時期や運行期間などについて引き続き検討し、再度、実証実験を実施する方向で考えております。

なお、交通事業者による見守りサービスなどについては、様々な制約もありますので、運行事業者とも相談をしながら、町民の皆様がより安心して利用できる方策につきまして、引き続き検討してまいりたいと考えております。

以上で答弁を終わります。